

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

株式会社 JOTA(栃木プラント)VDA 継続監査

今回は栃木でAdBlue®を製造している株式会社JOTA様のVDA継続監査の様子をお伝えします。

AdBlue®メーカーは、ドイツ自動車工業会(VDA)からAdBlue®の名称使用許可を頂くために定期的にVDA監査委託会社による監査が実施されます。この監査は3年に1度実施され、前回監査後の3年間の製造量・販売量・原料使用料と製造品の都度検査の有無を確認していきます。監査当日も1バッチの製造を実施しドイツ検体検査機関(CLU)に検体を送り国内検査機関とのダブルチェックを実施します。

監査の内容は回を重ねるごとに厳しく、我々Schatzグループは、ドイツ自動車工業会(VDA)からの指示を遵守し、AdBlue®スペックを守りながら安心・安全な製品を提供し続けます。

SchatzのAdBlue®は、厳しい監査をクリアしたメンバーが製造し、自社給液にてAdBlue®アドバイザーがお届けいたします。AdBlue®の事でしたら、何なりと給液者にお尋ねください。



【尿素市況】 8月輸入価格は続伸、肥料需要の高まりで

輸入尿素価格は8月も続伸した。リム情報開発の調べでは、円建て日本着(CIF)価格は25日時点でトンあたり約66,300円と、7月21日時点から5,600円ほど上がった。

インドやブラジルなど消費国の肥料需要の高まりで相場が押し上げられた。また、マレーシアの尿素工場が定修で稼働を停止し東南アジア地域で供給不足が発生、ショートカバーの買い気も浮上した。

8月上旬に天然ガス価格が高騰しコスト面でも押し上げ圧力がかかった。猛暑で冷房用需要が急増するなか、豪LNGプロジェクトでストライキが実施される懸念が広がったためだ。尿素的の生産国エジプトでは天然ガス不足から尿素生産を削減する動きも出た。

8月下旬にかけて円相場がドル対比で大きく下落したことも円建て尿素輸入価格を押し上げる一因になった。1ドルあたり147円台までドル高・円安が進行した。(リム情報開発の週刊『クリーンエネルギー』記事を編集加工)



トラック以外にも使われる AdBlue®

AdBlue®はトラック以外にも必要な事をご存じでしょうか？

尿素水機器・装置の製造を手掛けるエイチツーでは、創業時より建機用のアドブルー供給装置や、船舶に搭載される尿素水供給装置なども手掛けてきました。建機・重機・船舶にも使用される尿素水は、トラック用と同じく排ガス浄化用です。トラックと同じくディーゼルエンジンで動くので、仕組みは同じで、規制に関しても同じく厳しい数値が課せられています。

とある大手建機メーカーさんより承っている建機用の尿素水供給装置はトラック用とは違い特殊仕様となっております。

当時、メインマーケットであるロシアへ輸出する建機に使用したい、とのことでアドブルーの凍結温度を下回る可能性があるようで、ヒーターで加温できる仕様となっていました。

シャツグループでも建機・重機を扱うお客様多くみえます。トラック以外のアドブルーに関しても、お問い合わせは最寄りのシャツグループまでお気軽にお問い合わせください。(記事：株式会社エイチツー)

